

Psoriasis News

発行 大阪乾癬患者友の会(梯の会)
編集 友の会編集委員

特集

第25回学習懇談会



・・・ Index ・・・

・第25回学習会	P1	・患者体験談	P16
・「皮膚は地球を救うパ		・質疑応答	P17
ートII」		・「ステララーラについて」	P20
玉井克人先生	P2	梅垣知子先生	P23
・日本乾癬患者連合会報	P12	・金閣銀閣ツアー	P23
告 佐々木		・第4回女子会	P23



学習会の様子

第25回学習懇談会開催 日生病院で

感動を呼んだ医療講演

大阪大学教授 玉井克人先生

「皮膚は地球を救うパートII」

さる六月十一日(土)日生病院にて、第二十五回学習懇談会が行われました。十二時より受付を開始し、十二時半からプログラムがスタートしました。最初に岡田会長より挨拶があり、続いて日本乾癬患者会会長の佐々木氏より話がありました。佐々木氏は四月三十日に先の東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県塩竈市や石巻市、また福島県を訪問し、未曾有の災害の被害を

実感されると同時に、宮城では宮城乾癬患者会の幹事の方や南福島さとう皮膚科の佐藤守弘先生と面会し、今回の地震の被害や患者さん達の様子など現地状況報告してくれました。なかなか現地の乾癬患者の方々への直接の支援は難しいながら、ポスター掲示などにも尽力されたとのこと。また五月二十八日には、韓国大田(テジョン)ユソンの温泉地にあるキョンホテルで開催された「第八回ソニナラ(韓国患者の全国組織)ワークシヨップ・全国大会」へ参加され、韓国の乾癬患者の方々と交流してきた体験を語ってくれました。

患者体験談は三重県乾癬の会会長稲垣氏が自身の発病・治療歴を語って頂き、また患者会との関わりについても色々話をしてくれました。ユーモアを交えたお話しでしたが、クリスマスチャンでもある稲垣氏の人柄が滲み出たスピーチでした。

メインの医療講演は今回大阪大学医学部再生誘導医学講座教授でいらっしや

る玉井克人先生が「皮膚は地球を救うパートII」というテーマで講演をして頂きました。玉井先生は御専門は表皮水疱症の研究ですが、実は御自身も乾癬患者であり、私達と同様赤斑や鱗屑・痒みなどの症状に悩んでおられることとお話しされ、特に皮膚科医であることにより、最初は治療に当たっても患者の前で色々戸惑いがあったこともお話しして頂き、大いに共感を頂きました。

先生は現在難病である表皮水疱症の研究と治療に懸命に取り組んでおられますが、患者さん達から、むしろ先生自身が教えられることもあり、また大変な病気の下でも、必死にしかも前向きに生きておられる患者さん達との関わりや交流を、とても素晴らしい語り口で話して頂き、先生のこの病気の治療と研究にかける情熱や患者さん達への愛情が随所に感じられる素晴らしい講演で、会場は感動の嵐となりました。

人はまず皮膚と皮膚との接触から、その全ての交流が始まる、皮膚こそコミュニケーションの象徴であり、人間愛の象徴であるという結びは私達に深い感銘を与えるものでした。

講演の後は質疑応答、懇親会と続きました。質疑応答ではこの度新しく患者会を立ち上げたふくおか乾癬友の会の相談医である橋本隆先生(久留米大)にも加わって頂きました。懇親会では医療相談コーナーも設けられました。

こうして今回も八十人以上の参加があり、無事終了しました。